

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年5月23日

2次評価日（課長等） 26年5月23日

1 事業名	民生児童委員協議会活動支援事業			コード	61108	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者	小林隆志
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	福祉の充実	施策	地域福祉の推進	
		予算科目	民生児童委員協議会活動支援事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり	
		根拠法令	民生委員法、児童福祉法			

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	身近なところで相談や支援活動を行い、地域福祉の中心的役割を担う民生児童委員の研修会・会議等への開催協力や協議会の健全な継続運営への支援を行う。		
目的	対象者	岡谷市民生児童委員協議会	
	意図	民生児童委員協議会組織の強化及び地域住民に対する民生児童委員活動の充実	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
活動交付金・福祉委員報酬の支給及び以下の研修会や会議等について、事務局として運営に携わった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員会 14回 月例・監査 市会議室 正副会長・会計・主任児童委員長</li> <li>地区会長会 12回 月例 市会議室 役員・地区会長</li> <li>主任児童委員会 11回 月例 市会議室 各地区主任児童委員</li> <li>部会、委員会 16回 随時 市会議室他 4部会×3回、視察研修委員会4回</li> <li>総会 2回 定期(4/21)、改選期臨時(12/19) 市会議室</li> <li>研修会等 5回 随時 視察(東京～千葉)、会長、新任委員、2期目以降委員、主任児童委員</li> </ul>		
前年度の課題への対応	相談件数の多様化や困難ケースの増加に対応するため、1人で悩むことなく、民生児童委員同士の意見交換・交流・助言などにより協力し合い、円滑な活動体制を構築するため、多くの部会や研修会の開催などを支援した。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 直接事業費	18,523,498	18,500,616	18,489,951	18,398,660	
経常経費	18,523,498	18,500,616	18,489,951	18,398,660	
臨時的経費	0	0	0	0	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	4,480,000	4,400,000	5,360,000	5,360,000	
正規職員の人数(人)	0.56	0.55	0.67	0.67	
③ 合計コスト(①+②)	23,003,498	22,900,616	23,849,951	23,758,660	
前年度比		99.6%	104.1%	99.6%	
財源内訳					
一般財源	22,867,498	22,809,616	23,764,951	23,673,660	
特定財源	136,000	91,000	85,000	85,000	
* 特定財源の説明	民生委員交付事務費県委託金				
④ コストに関する補足説明	直接事業費は、福祉委員報酬、旅費、消耗品の計				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
民生委員活動費交付金	件数	158	158	158	157
	金額	9,214,950	9,229,250	9,188,590	9,165,460
民生委員関係補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,304,100	1,206,100	1,304,100	1,201,200
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	10,519,050	10,435,350	10,492,690	10,366,660
	割合	56.79%	56.41%	56.75%	56.34%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 時代の流れに伴い近隣との付き合いの希薄化、低迷する経済状況、少子高齢化社会という現代において、地域に根ざして活動する民生児童委員の対応するケースは年々困難の様子が伺われるため、民生児童委員同士が協力し、支え合える体制強化が非常に重要となる。
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 現行の研修会や会議を含めて、市内或いは諏訪圏域などの民生児童委員が気軽に話し合い、交流でき、またそれ以降の連携を図り強化するための研修会等の機会を設けるなどの検討を行う。 一斉改選においては、地域に密着した活動が可能な体制づくりに向け、区役員等地元地域からの推薦方法を更に充実させ、継続することで地域に根ざした活動の促進を図る。
改善方法	
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	--	---